

2018 日台大学学長フォーラム

(2018 Japan-Taiwan University Presidents' Forum) を開催 (6/7-8)

国公立大学団体国際交流担当委員長協議会 (JACUIE) は、台湾の大学関係団体である高等教育国際合作基金会 (Foundation for International Cooperation in Higher Education of Taiwan (FICHET)) との共催で、6 月 7 日 (木) にリーガロイヤルホテル広島 (広島) にて「2018 日台大学学長フォーラム」を開催しました。本フォーラムは、広島大学をホスト校として、日台双方より大学長を中心とする約 200 名の高等教育機関関係者が参加しました。日本からは国公立大学及びその他関係機関より 73 機関 136 名 (うち国立大学からは 37 大学 79 名)、台湾からは 40 機関 72 名の参加がありました。

「Enhancement of Education and Research Collaboration Corresponding to the Globalization of Society」のテーマのもと、日台双方の高等教育機関が、諸問題を抱えるグローバル社会に対応した教育と研究協力を推進していくために取り組んでいくべき方策等について、活発に議論を交わしました。

フォーラム初日は、開会挨拶に続いて、日台の大学間におけるダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム、留学生交流プログラム、若手研究者の交流、産学が協働した研究プロジェクトの推進に関する事例発表が行われました。

続いて、日台双方における教育と研究に関する取組について発表があった後、JACUIE と FICHET との間で、日台双方の大学間の協力関係を推進していくための共同宣言が採択され、閉会挨拶の後、盛会のうちに閉会しました。

閉会後には、JACUIE と FICHET との間でフォローアップ・ミーティングを行い、JACUIE からは永田恭介 座長 (筑波大学長) をはじめとする計 7 名が、FICHET からは蘇慧貞 会長 (国立成功大学長) をはじめとする計 7 名が出席しました。その中で、本フォーラムの振り返りを行うとともに、次回フォーラム (2020 年 11 月に台湾にて開催予定) の基本方針を含め、今後の連携について広く意見交換を行いました。

また、夜には、広島大学主催によるレセプションが同会場にて開催され、各参加機関の代表者を中心に約 190 名が出席しました。続く 2 日目は、広島大学主催による台湾側参加者を対象にしたエクスカージョン (約 30 名が参加し平和記念公園及び宮島を訪問) が実施されました。

今後も、日台の国際交流が更に活発になることが期待されており、当協会として、台湾の大学団体等と協力し、双方の交流拡大に向けた取組を進めていきます。



全体司会を務める堀田泰司
広島大学副理事



開会挨拶をする永田恭介
JACUIE 座長（筑波大学長）



開会挨拶をする蘇慧貞
FICHET 会長（国立成功大学長）



開会挨拶をする越智光夫
広島大学長



開会挨拶をする柿澤未知
日本台湾交流協会総務部長



開会挨拶をする張仁久
台北駐日経済文化代処副代表



事例発表をする長谷部勇一
横浜国立大学長



事例発表をする米川英樹
日本学生支援機構理事



事例発表をする小林万里子
日本学術振興会国際統括本部長



事例発表をする前田芳實
鹿児島大学長



事例発表をする服部泰直
島根大学長



事例発表をする笈善行
香川大学長



モデレーターを務める濱名篤
関西国際大学長



モデレーターを務める浅野哲夫
北陸先端科学技術大学院大学長



共同宣言を採択する永田恭介 JACUIE 座長と
蘇慧貞 FICHET 会長



閉会挨拶をする永尾教昭
天理大学長



フォーラム会場の様子



ディスカッションの様子



レセプションの様子



コーヒーブレイクの様子



フォーラム参加者による集合写真



エクスカーション参加者による集合写真

【参考】

- プログラム集
- 発表資料（掲載準備中）
- その他当日の写真（掲載準備中）